

## <会社概要>

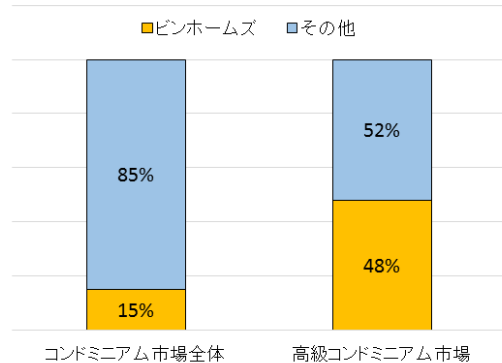
ベトナム不動産業界で最大手級のビングループの住宅開発部門が2018年5月に独立して上場された企業でコンドミニアムなどの住宅開発事業を中心に手がけている。

現在、売上げの大半は住宅の販売収入であり、高級コンドミニアムの販売市場においては半分近い市場シェアを有する業界のトップ企業である。主にホーチミン市とハノイ市においてビンホームというブランド名で高級集合住宅を開発してきたが市場のニーズに合わせて今後は中間価格帯のビンシティというブランドの住宅の開発にも注力する。

オフィスビルについてはホーチミン市とハノイ市などにおいて賃貸ビルを運営している。

ホーチミン市、ハノイ市周辺に今後開発可能な土地を多く確保しており、今後も住宅開発プロジェクトを中心に発展していくものと見られる。

## コンドミニアム販売市場シェア



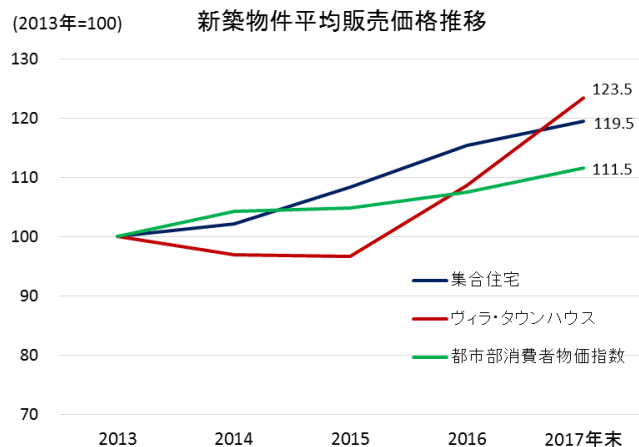
(注) 2015-2017年、ホーチミン市、ハノイ市累計販売額  
(出所) ACBS, VHM, CBRE

## <業績動向>

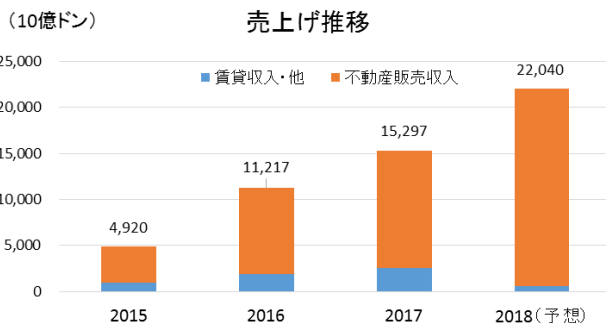
ベトナムの一人当たり所得、生活水準は確実に向上しているため住宅に対する需要は順調に推移している。新築物件の販売価格(売り手の提示価格)は上昇傾向にあり、これは都市部における消費者物価の上昇率を上回る傾向にある。

政府は不動産投機を抑制する方針であり、不動産部門に対する銀行融資も慎重になってきている。しかし、当社の財務体質は比較的健全で総資産に対する負債比率は60%程度となっており、過度の借入れは避けられている。

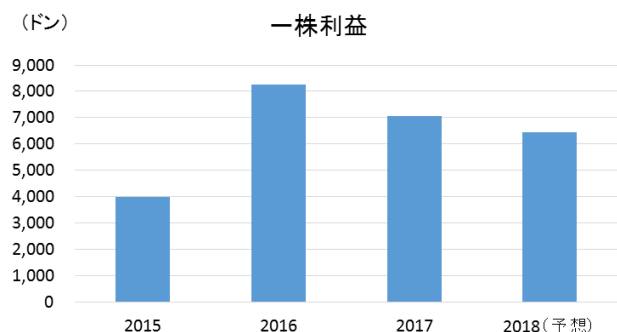
2018年以降、需要の多い中価格帯の物件の販売が本格化するため当社の売上げも順調に推移するものと予想される。



(注) 単位面積あたりドル建て売り手提示価格  
(出所) JLL RESEARCH, GSO



(出所) ACBS



(出所) ACBS

### ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
主な事業 金融商品取引業

有効期限 作成日より6ヶ月 News20180523

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成されたものですが、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。ベトナム株式へのご投資には、取扱手数料(【対面取引の場合】約定代金×2.16%(最低手数料800,000円)、が必要で、外国株式の売買にあたり、円貨と外貨を交換する場合には、外国為替市場の動向をふまえて当社が決定した為替レートによるものとします。